

ラプロス

間もなく梅雨が明け夏がやって来ますが、皆様は暑い時期をどのようにお過ごしでしょうか。夏ばてや熱中症にはくれぐれもご注意ください。

201年
7月号
Vol.43

- | | |
|--|--|
| ■新築分譲マンション
○ラプロス笹丘
完売御礼!! | ■新築分譲マンション(販売受託)
○サンリヤン三国が丘駅前
西鉄三国が丘駅徒歩1分
販売戸数25戸/全63戸
第1期分譲先着順申込受付中 |
| ■宅地(戸建)
○プロスベリテ小田部
完売御礼!!
○プロスベリテ香椎の杜
完売御礼!!
○トラストヴィラ若久
完売御礼!! | ○サンメン西新エルド
地下鉄空港線徒歩14分
販売戸数8戸/全38戸 |
- 売却不動産募集中!!**
不動産の売却をお考えの方は是非ご相談ください。ご連絡お待ちしております。

発行：株式会社ラプロス
発行人：代表取締役 樋口繁樹
〒810-0001
福岡市中央区天神1丁目12番1号 日之出福岡ビル5階
TEL092-737-2211 FAX092-737-2212
URL <http://www.lapros.co.jp/>

夏です！今年のヤマはどんなヤマ？

今年も山笠の季節がやって参りました。昨年一番山笠を無事奉納し、今年の七番山笠土居流は『征夷大將軍頼朝』。奇数山は勇壮な差し山、偶数山は静・優美の堂山といわれ、標題や人形もそれに合わせて各流の総務と人形師が打合せして決めていきます。7月1日から飾り山は公開されますが、土居流においては飾り山はなく昇き山だけなので、毎年当番町の日程で1日～8日までの土日で棒締め行事と人形飾付け行事が組まれます。さて今年の土居流の頼朝の人形はどんな勇壮なものになるかも楽しみです。

先週は町内初寄り、昨日は流の旧役員会がありどんどん山笠モードに突入しているのでつつい山笠の話で書き出してしまいました。今年の僕の旧役員としての町内の役割は行事ごとの直会の料理差入れの段取りです。各家の志である差入れを各日程の参加人数に合わせて上手く配分し、最終的には現役員赤手拭いと打合せながらいかに冷たいものは冷たく、温かいものはより温かい状態で、参加者の前に並べ、また直会中にも上座から回すが偏りすぎないように子供にも行き渡ったか、などと目配りして残らないように食が進んでいる若手の方に回していかなと……。などとヤマの仕事も考え出したらどんどん気になることが出てきます。そういった感じで、6月中旬～7月15日までは、脳みその中にヤマのことが徐々に割合を占めていき、本来の生業の仕事の方が頭の片隅に追いやられていき、そうやって立派なヤマのぼせと周りから言われる人間が出来上がっていくわけですね。

この原稿を書きながら、実はラプロスがお手伝いを始めて足掛け5年、この度完成入居となったある建替事業の先週行われた感動の竣工祝賀会の話と自分の思いを書きたかったのですが、そうやってヤマの方に脳みそが徐々に浸食され、気がついたらほとんどヤマの話になっておりました。7月1日の辻祈禱行事と町内挨拶でいよいよ本格的に始まります。あっ！あの会社にも山笠奉賛金（寄付金のことです！）のお願いの「趣意書」を6月中に持って行っとかんといかん……思い出した！！てな感じで、15日まであっという間に過ぎ去っていきますが、今年も一所懸命53才のオイさんなりの参加の仕方怪我せず無事奉納して参りたいと思います。建替事業の竣工祝賀会の話はまた次号で紹介します。お楽しみに！



代表取締役 樋口繁樹

知っとく情報

文：田中

住まいの購入を検討する際、リビングなどは自然光による部屋の明るさを重視されたお客様が多くいらっしゃいます。室内が明るいと広く感じますし清潔感も向上し快適に過ごせます。逆に十分な明るさがない中で生活すると視力に悪い影響を及ぼしたり、家事の効率が悪くなるなど思わぬストレスの原因になってしまいます。では自然光はどこから入ってくるのでしょうか？もちろん各お部屋についている窓からです。それではちょっと窓を見てみてください…どうですか？ということでは今回は『簡単な窓ふき』をご紹介します。

まず用意するものは、新聞紙・バケツに溜めた

水・台所用洗剤（中性）の3つです。

窓ふきの手順は、①バケツの水の中に台所用洗剤を数滴たらし、100倍くらいに薄めた水を作ります。②新聞紙1枚をクシャクシャに丸めた新聞ボールをいくつか作ります。それを洗剤をといいた水につけ（少し湿らす程度）ガラス面を拭きます。③乾いた新聞ボールで拭きあげます。

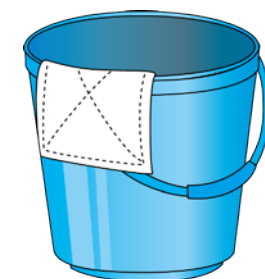
掃除のコツは窓が湿っているうちに乾拭きをすることです。また、汚れがひどい時は水ではなくぬるま湯を使用してみてください。

新聞紙を使うメリットは、使用した新聞紙をそのまま捨てるができること、新聞のインクによる艶出し効果・曇り防止効果があることです。

市販品のスプレー洗剤などを使用される場合は、直接窓面にスプレーしないように注意してく

ださい。液だれがスジとして残り拭きむらができやすくなります。

いかがですか？窓からの見通しもよくなって、より明るくすっきりになりましたでしょうか？窓掃除は晴れた日より曇りの日のほうが向いています。晴れ間の少ない梅雨のこの時期は掃除しやすいのでぜひどうぞ！



私、アラキの戸建てへの思いをつらねるこのコーナー、好評（自画自賛）のうちに23回目です。今回は、前回のラプレターの高齢者等への配慮の続きです。住宅性能表示制度での高齢者等対策についてみてみます。

この制度では、高齢者等対策の5段階の評価基準として、「移動時の安全性の確保」と「介助のし易さ」の2つの視点があるとご紹介しました。実際の評価は具体的な部位について、定められた基準を満足しているかどうかで判定されます。以下にその部位ごとの考え方を簡単にご紹介します。

①部屋の配置…便所、浴室、玄関、洗面所、脱衣室、食事室のすべてが寝室と同じ階であれば等級5、便所だけ同じであれば等級3となります。2階建ての家をどのような設計にするのか、どの階に何の部屋を配置するかを十分に考えないといけません。

②段差…無いに越したことはありません。評価制度ができたおかげで、ユニットバスも床段差なしが当たり前になりました。玄関やベランダへの段差にも規定があり、手すりの設置を併用することもあります。

③手すり…階段には建築基準法によって手すりの設置が必須となりました。廊下、トイレ、浴室は、最初から手すりを設置せずに、将来取り付けられるように下地のみを設けることもあります。が、下地が無くても手すりの設置は可能ですので、日曜大工の得意なアラキとしては、あまり考えなくてもよいのではないかと思ったりもします。

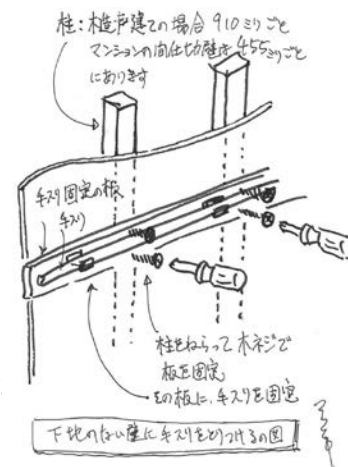
④通路、出入口の幅…750ミリ以上を確保しているかどうかはひとつの判断基準となっています。けれども、トイレの扉をそんなに大きくすると、開いた時にかえって邪魔になります。トイレに車イスごと入らないといけないようであれば、トイレの広さそのものも広げないといけないと思いますので、トイレに限って言えばやや過剰ではないかとアラキは思います。ちなみに、室内用車イスは幅550ミリのものや、もっと小型のものもあります。日常の使い勝手も考えて判断されてよろしいかと。

⑤転落防止…2階以上の窓やバルコニーに設置する手すりには、高さの規定があります。床から1100ミリ以上が基本ですが、足がかりがあれば注意が必要です。小さな子どもがいるご家庭では、足がかりになるような家具や簡単に移動できる物などを窓やバルコニー近くに置かないようにお気をつけください。

⑥寝室、便所、浴室の広さ…介助をする上では、介助者が動くスペースが必要です。広いに越したことはありません。寝室で推奨されている広さはなんと8帖くらいになります。アラキ家の寝室は5帖ほどしかありませんが、寝るだけの部屋なのでこれで十分な広さなのですが…。

以上、簡単にご紹介しましたが、家を新築するとき、将来の身体の機能低下に備えて配慮することも必要ですね。

2階にもトイレをつくるのか、8帖の寝室を1階に設けるか、それとも平屋の家を建てる広い敷地を買うか…全部を満足すればコストもかかります。将来に備えるのも大切ですが、どのような生活をしたいか、どんな家族であたいのかを実現する家づくりをしたいですね。



心築

～心に残る建築～

昭和27年頃私が住んでいた所は、今の昭和通りに面した中央区舞鶴2丁目で、当時は呉服町という町名でした。道路は今の歩道の広さで、家は木造2階建て玄関は勿論引き戸、家の居室は全て和室、台所は土間で未だ竈があり、薪で火を焚いてご飯を炊いていました。家に風呂は無く銭湯に行き、洗面は井戸水を洗面器に入れて顔を洗い、便所は汲取りで定期的にお百姓さんが取りに来ていました。これが当たり前で何の不便さも感じていませんでした。今思えば時間もゆったりと流れていたように感じます。昭和40年に入り、住宅公団や市・県の公社による分譲、賃貸住宅が多く建てられる様になり当時はモダンな建物としてもてはやされ、入居するには抽選があり、抽選に当たればニュースになるほどでした。

時は流れ、この時期に建てられた公社・公団住宅が今、建替えの時期に入っており、その大きな理由としては、建物の老朽化が顕著になり耐震を含む構造的劣化と社会的劣化（居住空間が狭い、エレベーターが無い、住宅設備機器が現在の機器に比べて陳腐化している等々）が進み、住めないと判断されるからです。私は昭和49年からマンション事業に関わってきましたが建物の構造、部材は勿論、住宅設備機器の進化は目を見張るものがあり、まさに住戸内は電子機器のオンパレードで、これもいかに無駄を省いて快適で便利な生活空間を造り出すかという努力の結果として、現在の様な機器が提供されています。私の様な高齢者は事前に取扱説明書で学習しなければ風呂にも入れないという感じです。少しやりすぎの感じもしていますが、さて、無駄を省いて快適な生活と言いますが、本当にそうでしょうか。わたくし思うに**無駄こそ心の安らぎ**、広い縁側、大きな浴槽、ポーとしている時間 等々。

家の中で何処か無駄と思われる場所があれば、そこに身を置くだけで心地いい安らぎを感じませんか、**無駄は心の癒し**です。いつも緊張する相手より、気の置けない友人と無駄話をしている時のほうがほっとしませんか、住まいも同じだと思います。何処でもいいから、家の中に無駄な場所を造ってみましょう。



編集後記 山森

文章が苦手なので何を書いたら良いか、なかなか筆が進みませんが、この場を借りて皆様にご報告をさせていただきます。

4月～6月にかけて自社物

件のプロスペリテ香椎・小田部、ラプラス笹丘、販売受託物件のラストヴィラ若久の4物件の**完売**を迎えることができました。社員一同より厚く御礼申し上げます。

各物件を通してたくさんの方々と出会い、様々な経験を積み重ね、皆様から成長の機会を頂い

ているのだと強く感じております。嬉しいお言葉を頂くこともあれば、時には厳しい意見を頂くこともありますが、真摯に受け止め精進したいと思いますので、これからも末長いお付き合いの程よろしくお願いたします。